

わらく
「和」の心を楽しむ十月号

和 樂

waraku



神無月、
京都で出会う
至玉の美

白く、美しく、健康に！ ケアすれば必ず「結果」が得られます

最高のアンチエイジング 美しい歯を手に入れることは

肌と同じで、美しく輝く歯は「若さ」の象徴。というわけで今回の特集では話題の歯科人間ドックからホワイトニング、矯正まで最新のデンタルケアについて徹底リサーチ。自分の歯をベストに保つためのノウハウをじっくりとお伝えします。

将来、歯をより健康に、若く、美しく…
そのために定期的に行つてほしいのが『歯科人間ドック』。
いわば人間ドックの歯科版ですが、
虫歯も歯周病も早期に発見でき、
状態によつては予防処置により
治療をせずに済む場合も。

つまり虫歯や歯周病になつてから治すのではなく、
それらを寄せつけない理想的な環境へと導いていくのが
『歯科人間ドック』の目的なのです。

そして次の段階として矯正やホワイトニングなど
審美の分野へ。40歳を過ぎたら、
歯のメンテナンスは必須課題。歯科医院は
今や「アンチエイジング」のために欠かせない存在です。
(クリニックデュボワ 野上宏明先生)

撮影／湯浅哲夫(静物)、藤原宏明(取材)
スタイルリスト／三谷重利咲
イラスト／朝倉めぐみ
デザイン／豊田セツデザイン事務所
構成／猪原美奈

お話をうかがった方々

加藤大幸先生

銀座大幸歯科院長。インプラント治療に関しては現在までに3000例を超える治療実績をもつ。「インプラントで新しい生活」「究極の歯科治療」(ともに現代書林)など著書多数。



野上宏明先生

医療法人社団 協立歯科 クリニク デュボワ 副院長。東京歯科大学口腔外科勤務後、医療法人社団 協立歯科に勤務。その後、アメリカでニューヨーク大学ポストグラデュエイトコース修了。



佐本博先生

歯学博士。青山アール矯正歯科院長。日本矯正歯科学会認定医で、日本大学の非常勤講師も勤める。デーモンシステム、インビザラインなど最新の技術を取り入れた矯正を実施。



石井さとこ先生

審美歯科ドクター。ホワイト ホワイト デンタルクリニック院長。治療のかたわら雑誌やテレビの取材、講演などもこなす。「Dr.さとこの美人養成 美歯(VIVA!)道」(小學館)も好評。



私は常に「歯は肌と同じ」と考えていますが、歯のホワイトニングは今やセレブだけでなく、

「いつまでも若く、きれいでいたい」という女性たちすべてのもの。歯が白く美しくなることで5歳は若返って見えます。

大切なのは歯を削らずに白くすること、そして自分の歯が本来もつている白さに近づけること。

『アルゴンレーザー』によるホワイトニングは、安全で、照射時間が短く、痛みが出にくいのが特徴。

光の波長を利用して歯に沈着した色素を無色の状態へと分解するため、

歯の土台である歯髄を傷めることもありません。

これに定期的なクリーニング＆フォローアップのレーザーを行うことで、いくつになつても明るく透明感のある歯をキープできます。

(ホワイトホワイトデンタルクリニック 石井さとし先生)

「機能的に優れているものは美しい」というのが僕の理論。

矯正やインプラントは決して見た目の美しさだけを追求するものではなく、身体機能を回復させ、自分に自信を取り戻すための手段なのです。

70年代にはNASAで開発された新しい材料が矯正治療に応用され、それ以降は技術も飛躍的に進歩。

今では年齢に関係なく矯正、インプラントが受けられるようになりました。歯が健康で美しいと、

なんでもおいしく食べられることはもちろん、笑顔の絶えない魅力的な表情を演出してくれます。

その笑顔は周りにいる人間を幸せにし、人生を豊かにする力をもつているのです。

(銀座大幸歯科 加藤大幸先生)

30代までは見た目を気にして

矯正を始める人がほとんどですが、40代からはかみ合わせを整えるための選択肢として

矯正を始める人が多くなっています。

また30歳を超えるとほとんどの人が歯周病のリスクをかかることになるので、

その対処法のひとつとしても矯正は有効です。

矯正のいちばんのメリットは、自分の歯を削らなくてすむということ。

しかも最近は矯正装置をつけていることが「若々しさ」の象徴や「スタイル」として捉えられていて、わざと見せたり、強調したりする人もいるほど。

矯正法も今ではライフスタイルや好みに合わせていろいろ選択肢があり、痛み、治療期間、費用すべてにおいて患者さんの負担もグッと少なくなりました。

(青山アール矯正歯科 佐本博先生)



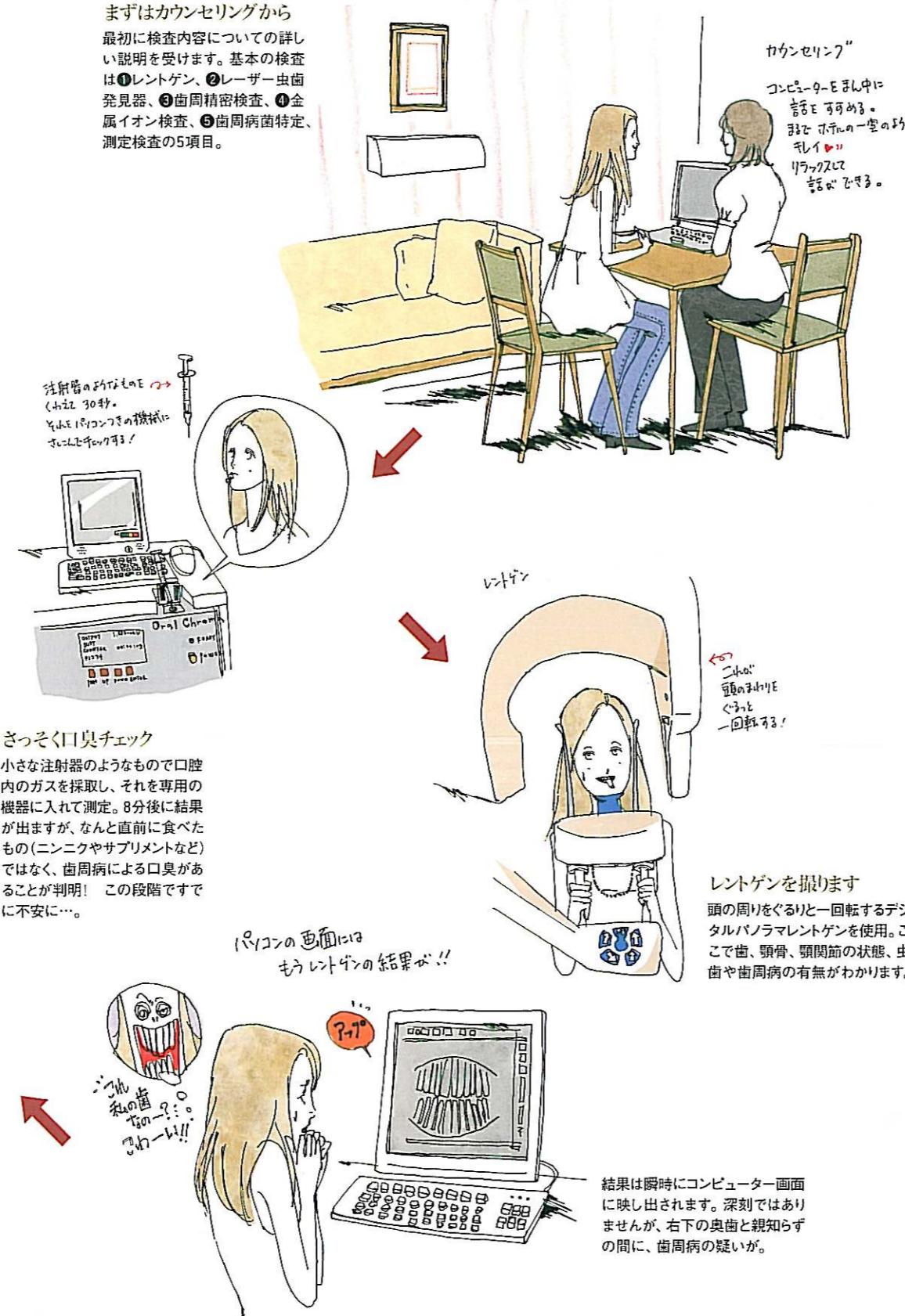
自分の歯のこと、本当にわかっていますか？

「歯科人間ドック」を定期的に受けましょう

レントゲンやレーザーによる虫歯チェック、口臭検査、歯周病菌の特定など口腔内を徹底的に調べる「歯科人間ドック」は、いわば一生健康な歯をキープするための究極の予防歯科。

その「歯科人間ドック」を15年以上前から行っているという『医療法人社団 協立歯科クリニック デュボワ』を取材させていただきました。ここではその内容を詳しくお伝えします。

これが「歯科人間ドック」の流れです



虫歯や歯周病になつてからあわてて治療するのではなく、トラブルが起る前に口腔内を徹底的に検査するのが「歯科人間ドック」。歯と歯ぐきの健康維持・トラブル防止のために定期的に受けるのが望ましいのだとか。

今回うかがった『医療法人社団 協立歯科クリニック デュボワ』は、まるでエステティックサロンのような優雅な歯科医院。まずは広々としたカウンセリングルームに通され、歯科人間ドックの流れやオプション検査についての説明をじっくり受けます。せっかくなので基本の検査のほかに、体内的有害金属やミネラル量がわかる毛髪ミネラル検査と体质遺伝子検査も行うことになります。

驚いたのはそのスピード。口腔内のガスを検出する口臭検査はたった8分で結果が出て、レントゲンに関しては撮影後に部屋から出たときにはすでにコンピューターの画面にレントゲン画像が映し出されているという具合。その後すぐにレーザーによる詳細な虫歯チェック、歯と歯ぐきの間のポケットを測定する歯周精密検査を行います。

奥歯の1本はレーザー虫歯発見器「デジタルノーマル」でなんと最高値の99を記録！ 1週間前に別の歯科医院に行つたときは何も指摘されなかつたのに…。歯周ポケットも3mmを超えるところがいくつもあり、軽度の歯周病であることが判明しました。

